

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第48週の発生動向

トピックス

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(定点把握対象の疾患)

第48週の県内定点当たり報告数が8.1となり、流行警報レベル開始基準値である「8」を超えた。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数が「8」を超えるのは、1999年の感染症発生動向調査事業開始以降初めてである。詳細後述。

全数報告の感染症(48週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症9例。
4類感染症：つつが虫病4例。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	90歳代	男	肺結核	発熱、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	0~4歳	女	—	水様性下痢、食欲不振、O111(VT1)
			0~4歳	女	—	水様性下痢、O111(VT1)
			0~4歳	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
			0~4歳	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
			0~4歳	男	—	水様性下痢、O111(VT1)
			0~4歳	男	—	腹痛、水様性下痢、O111(VT1)
			0~4歳	女	—	水様性下痢、O111(VT1)
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O111(VT1)
4類	つつが虫病	都城	50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			60歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			70歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	70歳代	女	—	発熱、咳、肺炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	10歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		小林	50歳代	男	早期顕症梅毒I期	硬性下疳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,948人(定点当たり60.7)で、前週比109%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は140人(2.4)で、前週比149%と増加した。高千穂(7.0)、中央(3.5)、都城(3.0)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

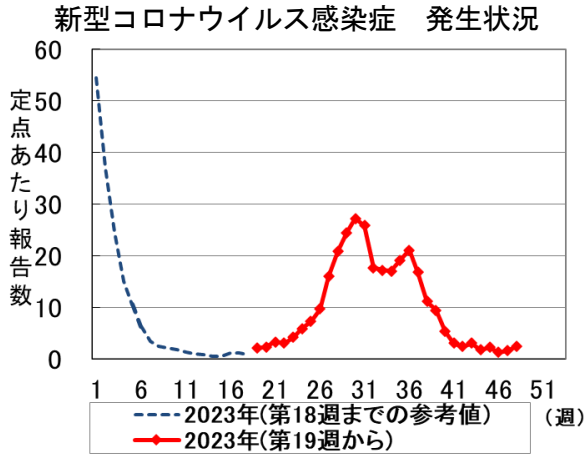
【インフルエンザ】

報告数は 2,059 人(35.5)で、前週比 109%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約 32.4 倍であった。高鍋(41.8)、延岡(41.4)、都城(41.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

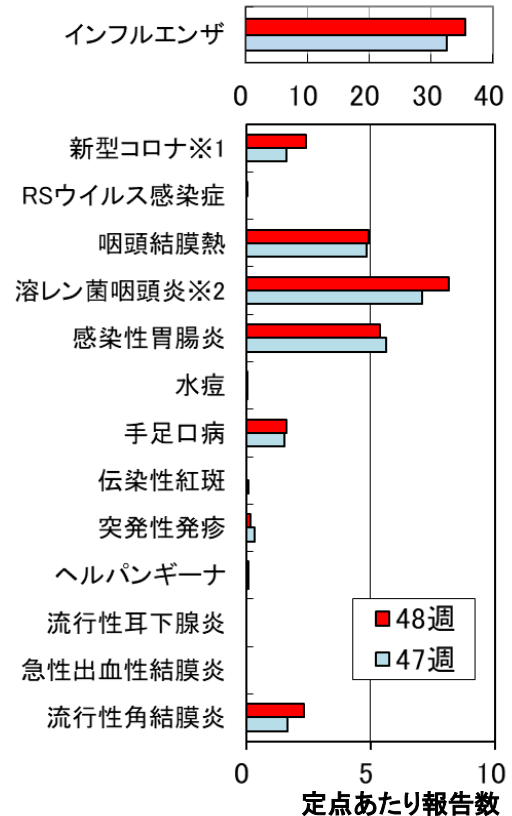
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 293 人(8.1)で、前週比 115%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.3)の約 3.6 倍であった。日南(15.0)、宮崎市(11.4)、都城(9.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均



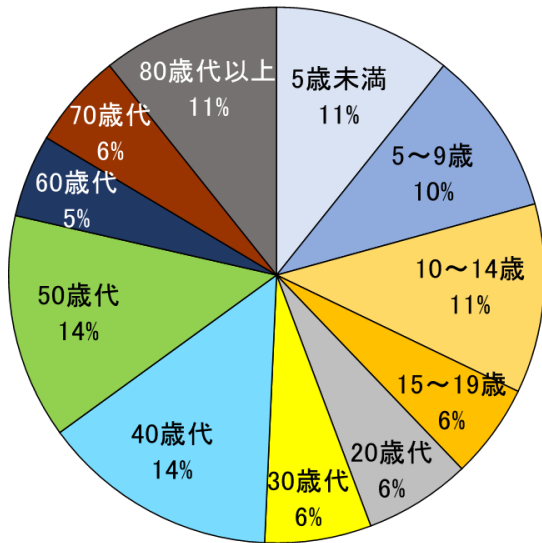
《前週との比較》



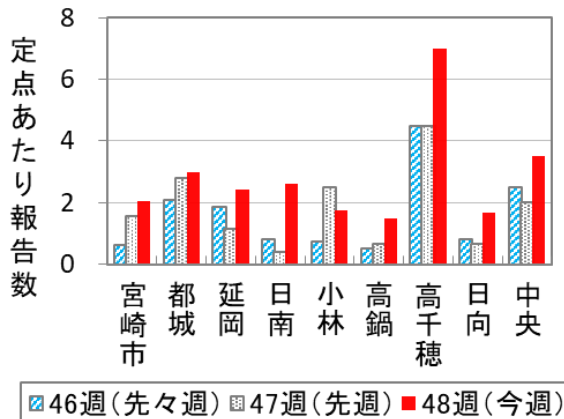
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

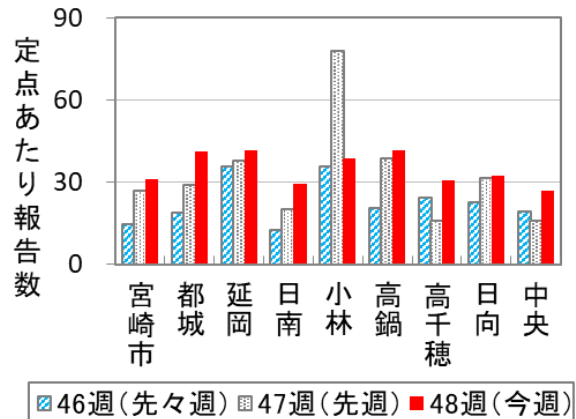
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第48週)



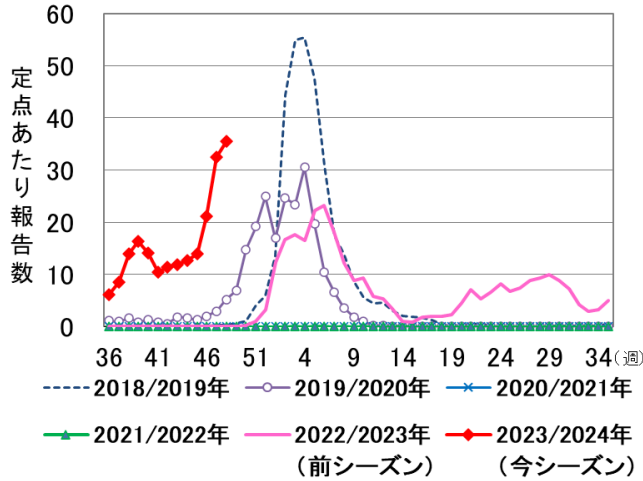
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



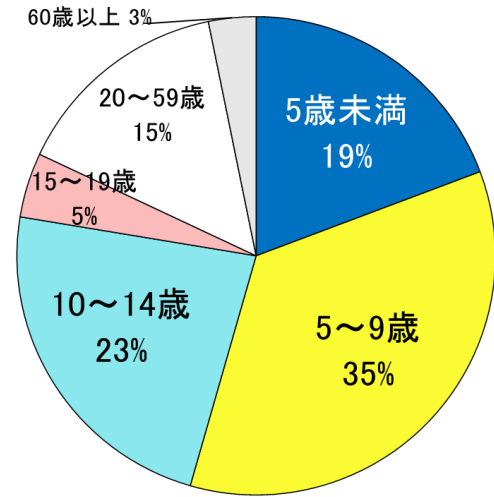
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



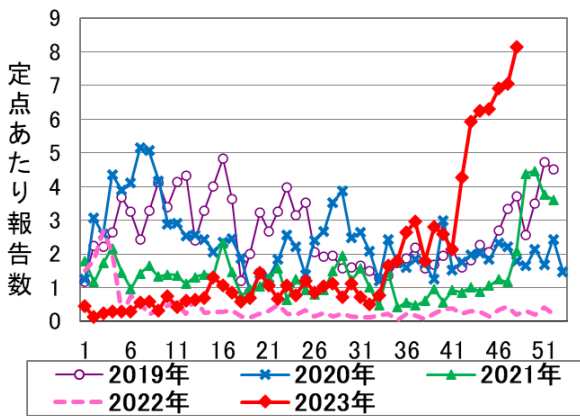
インフルエンザ 発生状況



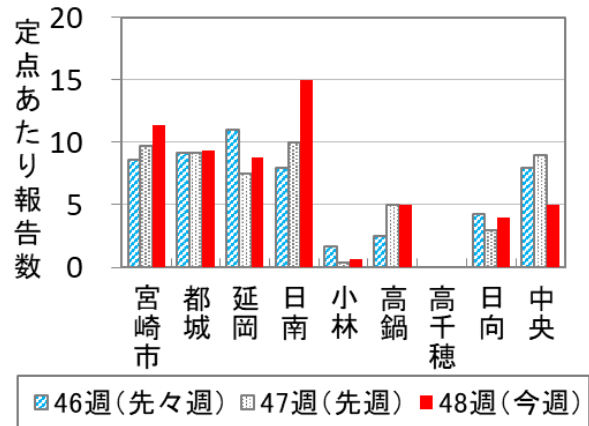
インフルエンザ年齢群別グラフ(第48週)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(31.1)、咽頭結膜熱(5.3)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(11.4)
都城	インフルエンザ(41.1)、咽頭結膜熱(8.8)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.3)
延岡	インフルエンザ(41.4)、咽頭結膜熱(5.5)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)
日南	インフルエンザ(29.4)、手足口病(7.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(15.0)
小林	インフルエンザ(38.8)
高鍋	インフルエンザ(41.8)、咽頭結膜熱(3.3)
高千穂	インフルエンザ(30.5)
日向	インフルエンザ(32.2)
中央	インフルエンザ(27.0)、咽頭結膜熱(25.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和5年12月3日までに検出）

★細菌 なし

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackie virus A6	5～9歳	女	2023.09.28	不明の発疹症、39.6℃、下痢、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2023.11.30
Coxsackie virus A6	0～4歳	女	2023.09.28	不明の発疹症、38.5℃、発疹（丘疹）	咽頭ぬぐい液	2023.11.30
Influenza virus AH1pdm09	10歳代	女	2023.10.23	A型インフルエンザ、38.7℃、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2023.11.30
Influenza virus AH3	5～9歳	男	2023.10.30	A型インフルエンザ、39.9℃、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2023.11.29
Influenza virus AH3	10歳代	男	2023.10.30	A型インフルエンザ、39.4℃、 下気道炎（気管支炎）	鼻汁	2023.11.29

○不明の発疹症を呈する患者2名からコクサッキーウイルスA6が検出された。コクサッキーウイルスA6はコクサッキーウイルスA16やエンテロウイルス71などととも手足口病の原因ウイルスとされている。特異的な治療法はなく、予防としては有症状中の接触予防策および飛まつ感染予防策が重要である。また、症状が消失した後も便中へ2～4週間にわたり排泄されるため、排便後の手洗いを徹底させることも重要である。

○インフルエンザと診断された患者1名からインフルエンザウイルスAH1pdm09、2名からインフルエンザウイルスAH3が分離された。2023年12月4日現在における当所でのインフルエンザウイルス（2023/2024シーズン）分離検出件数は、インフルエンザウイルスAH3が9件、インフルエンザウイルスAH1pdm09が8件、インフルエンザウイルスBが0件となっている。

📊 全国 2023 年第 47 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	195 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	60 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	エムボックス	1 例	コクシジオイデス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	40 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	2 例	マラリア	3 例	レジオネラ症	41 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	35 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	7 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例	侵襲性肺炎球菌感染症	37 例	水痘（入院例）	6 例
	梅毒	139 例	播種性クリプトコックス症	1 例	百日咳	9 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比119%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は139,914人(28.3)で前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.85)の約33.5倍であった。北海道(51.9)、長野県(51.8)、佐賀県(49.7)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は11,139人(3.5)で前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.33)の約10.6倍であった。北海道(8.0)、福岡県(7.2)、福井県(6.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から6歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第48週(11月27日～12月03日)

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1885	2059	497	411	290	147	155	251	61	193	54
	定点当り	32.50	35.50	31.06	41.10	41.43	29.40	38.75	41.83	30.50	32.17	27.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	94	140	33	30	17	13	7	9	14	10	7
	定点当り	1.62	2.41	2.06	3.00	2.43	2.60	1.75	1.50	7.00	1.67	3.50
RSウイルス感染症	報告数		1								1	
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	174	178	53	53	22	2	1	13	2	7	25
	定点当り	4.83	4.94	5.30	8.83	5.50	0.67	0.33	3.25	2.00	1.75	25.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	254	293	114	56	35	45	2	20		16	5
	定点当り	7.06	8.14	11.40	9.33	8.75	15.00	0.67	5.00	0.00	4.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	202	193	47	33		48	21	11	6	18	9
	定点当り	5.61	5.36	4.70	5.50	0.00	16.00	7.00	2.75	6.00	4.50	9.00
水痘	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	56	58	19	9	3	21	1	1			4
	定点当り	1.56	1.61	1.90	1.50	0.75	7.00	0.33	0.25	0.00	0.00	4.00
伝染性紅斑	報告数	3										
	定点当り	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	13	7	3	2	1		1				
	定点当り	0.36	0.19	0.30	0.33	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	4		1	1	2					
	定点当り	0.11	0.11	0.00	0.17	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	14	3	11							
	定点当り	1.67	2.33	1.00	5.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～48週保健所受理分)

2類感染症	結核	102例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27例(9)	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	20例(4)
	レジオネラ症	7例	レプトスピラ症	2例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	後天性免疫不全症候群	5例
	侵襲性肺炎球菌感染症	15例(1)	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	5例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	167例(2)
			百日咳	5例

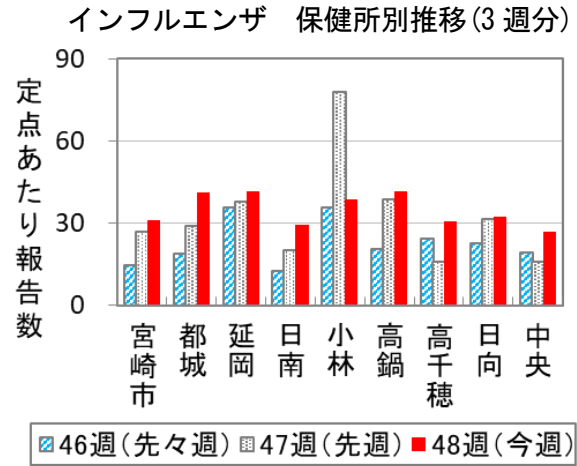
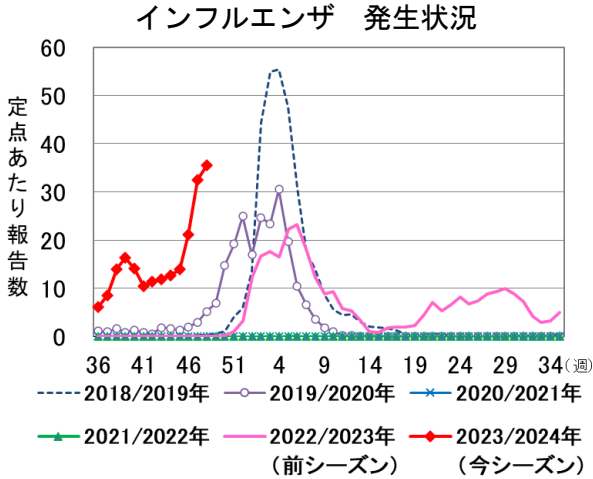
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第48週、全国第47週（再掲）》

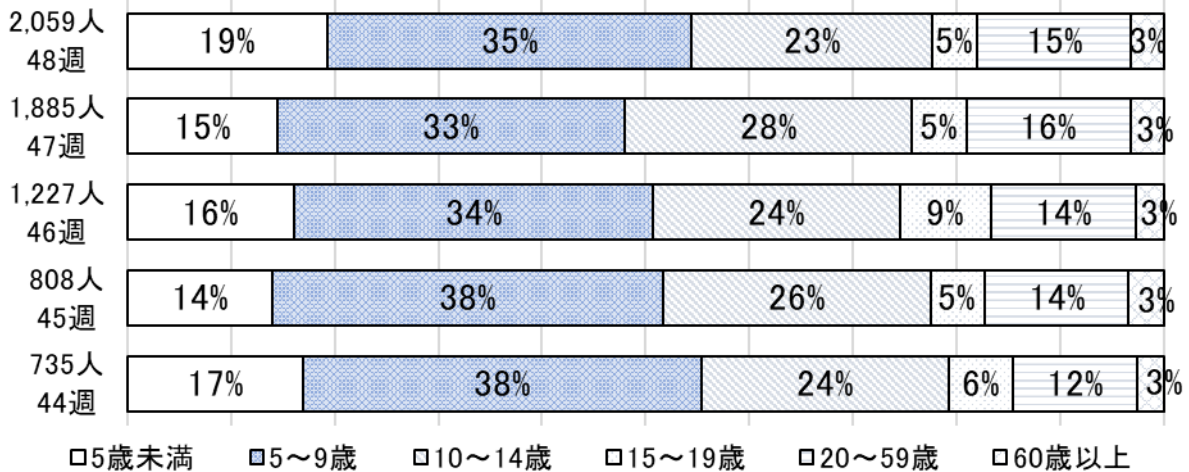
□ 県内第48週インフルエンザ発生動向

11月27日～12月3日までの1週間で2,059人(35.5)の報告があった。前週比109%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(1.1)の約32.4倍であった。

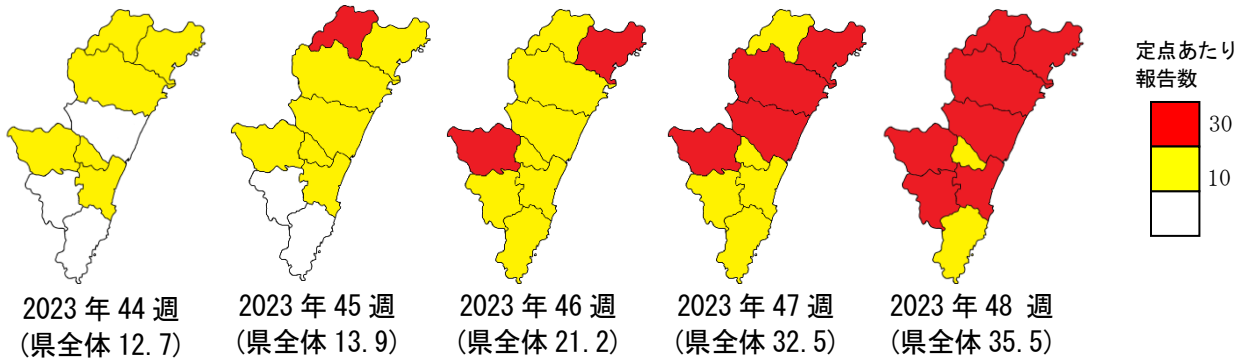
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第44週～第48週)



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第44週～第48週



□ 全国第47週インフルエンザ発生動向

11月20日～11月26日までの1週間で139,914人(28.3)の報告があった。前週比131%と増加し、北海道(51.9)、長野県(51.8)、佐賀県(49.7)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の14%、5-9歳が34%、10-14歳が24%、15-19歳が7%、20-59歳が18%、60歳以上が3%であった。